

こんにちは、
京都産業21です。

ものづくりスタートアップの第一歩(試作等)をサポートします。

私の所属するけいはんな支所は、精華町・木津川市に跨るKICK(けいはんなオープンイノベーションセンター)内にあり、施設の運営受託のほか地域企業の伴走支援をはじめ、学術研究都市ならではの先端的な取組や、研究開発型のスタートアップを支援する役割を担っています。

けいはんな地区は昭和53年「関西学術研究都市調査懇談会」の発足を皮切りに、約40年間の都市開発により大企業、大学、研究機関等の立地が進みました。その中でKICKとしては、特にスマートライフ、スマートエネルギー&ICT、スマートアグリ、スマートカルチャー&エデュケーションの4つの分野に焦点をあて、オープンイノベーションの視点から研究開発企業の入居者の支援も行っていきます。

先進的な研究開発をサポート

KICK内には「けいはんなロボット技術センター」を設置しており、企業がAGV(無人搬送車)やドローン、アームロボット、モーションキャプチャ等を使った実証の場として利用できる施設となっています。KICKではそうしたインフラの整備により、ロボット関連企業数社が入居するほか、関連したセミナー開催など、企業や専門家、また開発動向などの情報が集まる仕組みとなっています。

さらに今年度からは、同センター内と屋外道路(敷地内)に5G(第5世代移動通信システム)基地局を敷設し、通信エリアとしての貸し出しも実現。5Gの大容量、低遅延、多台接続の特徴を活かし、新たなビジネスの獲得を目指す企業が実証を行っています。例えば8Kを超える高精細映像によるストリーミング配信の実験や複数の子機(アンテナ・カメラ)の接続による大容量データ(画像等)の収集・転送実証、5G技術を活用した自動運転についてもテスト走行が進められており、将来を見据えた新しい技術の実現に向け、企業が動きはじめています。

その他、「MC-LAB(メタコンフォートラボ・超快適実証実験環境)」は目的に応じた様々な五感情報の組み合わせを定量的に検証できる施設であり、企業のみならず大学等研究機関にも利用いただいています。

「KICK-Fabスペース」をオープン

令和3年春にスタートした「KICK-Fabスペース」についてお知らせします。

「KICK-Fabスペース」は3Dプリンターやレーザー加工機、小型CNCフライス盤を備えたものづくりスペースです。そうし



KICK-Fabスペース
た機器の利用を検討するスタートアップ企業の、ものづくりへの挑戦の第一歩としてご活用ください。未経験で創業された方で「どのような造形の製品が考えられるか」や「初心者がどのような加工までできるか」といった内容でもぜひご相談ください。身近なところではおしゃれなカラトリー(アウトドア食器)やスピーカー等の造形試作のほか、昨今ではコロナ対策のオフィスパーティションスタンドの制作なども可能です。また、ものづくりに携わる方々の交流の場としても利用いただけます。

ぜひ、一度、試しに使ってみたい、という企業さんの御利用をお待ちしています。

<http://kick.kyoto/fab-space/>

けいはんな支所
イノベーションハブ担当 大玉
TEL:0774-95-2220



※本コーナーでは、京都産業21の多様な取組を職員目線で紹介します。

WITHコロナ社会での販路開拓をサポートします。

私が所属している販路開拓グループでは、府内ものづくり企業の新規取引先開拓支援を行っております。

新型コロナウイルスの影響によって、府内の景気動向は非常に厳しい状況が続いており、企業の皆様からも「既存顧客からの受注量が減少した」「展示会が中止となり新規営業ができない」といった声をよくお聞きします。

今回は、WITHコロナ社会における新たな販路開拓方法として、当財団が新たに制作した2つのWebサイトについてご紹介いたします。

バーチャル展示会サイト 「バーチャルパーク京都(VPK)」

感染拡大防止のため、展示会が各所で延期・中止となり、大手発注企業の多くは、外出規制により遠方への出張ができない状況になりました。そこで、WITHコロナ社会における非対面・非接触での営業活動を支援するため、ゲームコンテンツ等を手掛ける企業の協力を得て、バーチャル展示会専用のWebサイトを新たに立ち上げました。

昨年10月には、VPKを活用した1回目の展示会となる「KYOTO VIRTUAL FOOD MESSE」を開催し、府内の食品製造業34社が出展、大手百貨店やバイヤーと商談いただきました。今後もブラッシュアップを重ね、さらに多くの方々にご満足いただけるようなサイトにしていきたく思います。

2月1日～3月5日にはVPKを活用し、「バーチャル 京都ビジネス交流フェ



VPKサイト：<http://vp.kyoto>

ア2021」(詳細はp.3～4)を開催いたしますので、この機会にぜひご参加ください。

ビジネスマッチングサイト「京都商談ナビ」

府内中小企業と国内外企業のBtoB商談を促進するためのマッチングサイトを昨年10月にオープンしました。このサイトでは、モノづくりや食品等の製造業から伝統産業・情報通信業といった様々な業種の京都企業様が自社の製品やサービス・強みを発信いただけます。

また、国内外企業の発注ニーズをサイト上に掲載しており、自社で対応ができる案件に対して直接応募いただけますので、受注企業にとっては販路開拓のツールとして、発注企業にとっては協力企業探索のツールとしてご利用ください。この京都商談ナビも利用者のご意見をもとに改善・改良をしていきたいと考えておりますので、ぜひ一度ご活用いただき、ご意見を頂戴できればと思います。

日々の業務の中で、企業様とお話させていただく機会がございますが、このコロナ禍においても、売上回復のために努力を続ける社長様の姿やあらゆる工夫で感染防止に努める企業様に感心しております。少しでもそのような企業様のお力になれるよう努めてまいりますので、販路開拓に関することはもちろん、その他ご要望がございましたらお気軽にご相談ください。

事業支援部 販路開拓グループ
主事 清水
TEL:075-315-8590



※本コーナーでは、京都産業21の多様な取組を職員目線で紹介します。

みなさまの声を支援事業につなげます。

私は昨年度オープンしたばかりの京都経済センター支所で
府内企業の人材育成セミナー事業に携わるとともに、今年度
から始まったスタートアップ企業の支援事業に取り組んでい
ます。今回はそれらの取組についてご紹介します。

各種人材育成セミナーについて

セミナーについては、IT活用セミナー「情報化プラザ」や「製
造現場に関する講座」などを実施しています。

特に、現在募集中の「ウィズコロナ時代のリモートワーク、オ
ンライン営業」セミナーは、総務系（リモートワーク）と営業系
（オンライン営業）という少し違った組み合わせのテーマを設
定しています。これは、財団に多く寄せられていた「リモート
ワークに関して現在運用をしているのだが手探り状態だ」、「オ
ンラインでの営業ってどのようにしていくのか」といった企業
の皆様のお悩みに少しでもお役に立てたらとの思いからで
す。1日目に「リモートワーク×働き方」について、2日目に「商品
PR・情報発信×オンライン営業」を開催します。どちらか1日
のみ受講いただくことも可能で、受講いただいた中で何か一つ
でも「気付き」を得られるセミナーになるよう準備を進めてい
ますので、是非ともご参加ください。

※詳細は本誌P.9をご覧ください。

スタートアップ支援クロスファンクショナルチームについて

当財団では今年度4月から「スタートアップ支援クロスファ
ンクショナルチーム」を新設しました。これは、各部の事業を総
合的に活用しながら、効果的にスタートアップ支援をできるよ
う組織横断で編成されたチームです。

ミッションは、各支援機関などと連携・補完し合いながら、ス
タートアップ企業に最も近い立場になって積極的な支援に取り
組むとともに、スタートアップ企業が必要とする各種施策を

立案し、活用いただくことで、世界と伍するスタートアップ・エ
コシステム拠点都市を京都に形成することです。

これまで、現状把握を兼ねて多くのスタートアップ企業を訪
問させていただいたところ、「人材が欲しいがどこに聞けばいい
のか」、「資金支援をしてほしいが補助金などの良い制度は
あるのか」、「スタートアップのコミュニティはあるのか」など
非常に多岐にわたる悩みをお聞きしています。そういった課題
をできるだけ早く解決し、成長路線に向かえるよう具体的な支
援事業の立案・実施に向けて日々チームで取り組んでいます。

入職から7年目を迎えて

入職7年目を迎えて、今回のセミナーも含めて、これまでご
面談した皆様方からご意見やお話をいただくことで、企業が今
必要と感じておられる支援やどのように支援事業を運営して
いけば企業の皆様も当財団もより良く活動できるかを教えて
いただく毎日です。今回開催します「情報化プラザ」もその中
の一つです。

私もお客様とご面談する際は何か一つでも皆様方が「話せ
て良かった」と思ってもらえることを心掛けており、折角頂戴し
たご縁に感謝し、今後も努めてい
きたいと思います。

また、新しくご面談いただく方
も既にご面談いただいた方も上
記事業に関わらずどうぞお気軽
にお声がけください。今後ともよ
ろしくお願いします。



京都経済センター支所連携推進・人材育成グループ、
スタートアップ支援クロスファンクショナルチーム 柴田
TEL.075-708-3333

※本コーナーでは、京都産業21の多様な取組を職員目線で紹介します。

こんにちは、
京都産業21です。

経営課題の相談に丁寧に対応します

私の所属しているお客様相談室は、京都府産業支援センターの1階にあり、2005(平成17)年度に設置されて以来、同センター全体の受付・総合案内業務を行っています。相談者の方が最初に来られる窓口として、第一印象を大切に、日ごろから丁寧にお話をお聞きすることを心がけています。また、相談者の課題解決のために財団の他の部署や各支援機関、専門家等とを“繋ぐ”業務を大事にしています。そして、繰り返し来所され相談される場所となるよう目指しています。

それでは、お客様相談室が担当しています主な支援メニューを御紹介します。

①京都府よろず支援拠点事業

当事業は2014(平成26)年度からスタートした国の事業で、中小企業の皆様の経営相談所として経営改善、売上拡大、IT支援、事業再生、これから創業の準備をされる方など様々な経営課題の解決に向けて7名のコーディネーターが支援します(詳細はP.2をご覧ください)。特徴としては回数の制限無く、無料で経営相談が受けられることです。

②専門家派遣制度

中小企業様が抱えておられる経営・技術等の諸問題に対して、専門家が相談や診断助言を行います。現在154名の経営、財務、知財、税務、労務、デザイン、技術等各分野の専門家が登録しており、幅広い分野の課題に対応しています。当制度は、派遣に係る費用の1/3を利用者様が負担する有料の支援制度です。

③京都中小企業情報セキュリティ支援ネットワーク事業 (Ksisnet事業)

中小企業の情報セキュリティのIT相談窓口をお客様相談室に設け、中小企業者様からの情報セキュリティ対策等に関するご相談をお受けし、関係機関と連携し情報セキュリティ向上や対策の支援を行っています。



お客様相談室 吉田(TEL.075-315-8660)

※本コーナーでは、京都産業21の多様な取組みを職員目線でご紹介します。